

伝えたい
残したい
わがまちの
誇り



ふるさと の情景

VOLUME

14

滝畑地区
(岩湧山の山焼き)



2



3



4



1

岩

湧山は「花ススキの岩湧」
として新河内長野八景二勝
にも選ばれており、山頂には茅場
が広がっています。ここは、古く
から滝畑の住民によって維持・管
理され、刈り取ったカヤは民家の
屋根材として活用されてきまし
た。現在、カヤは毎年1月～3月
ごろに刈り取られ、一定期間保管
された後に文化財の修復材などに
利用されています。

4

月はじめの山焼きは、害虫
や雑木などを駆逐し、翌年
に良質なカヤを育てるために行わ
れます。当日は滝畑地区の住民を
中心に多くの人々が集まり、茅場
の様々な方向から火を入れます。
焼き終わったカヤや雑木が刈り取ら
れます。このよう
に岩湧山の茅場は、
多くの人々の手に
よって美しく保全
されています。



1白煙とともに燃え広がる
茅場2刈り取ったカヤは保
管庫に集められ文化財の
修復などに使用される3
点火作業の様子4山焼き
後一面黒くなった頂上

※岩湧山頂へは河内長野
駅より南海バス「滝畑ダム」
下車徒歩約90分または、
「神納」下車徒歩約200分。

ふるさとのひと

仲山隆章さん
なかやまたかあき

子どものころは岩湧山に
よく登って遊んだものです。
中学生の時は走って1時間
くらいで頂上にたどり着く
こともできました。

そんな岩湧山の頂上で良
質なカヤを刈り取るため行
われている山焼きは、準備
している地域の方々をはじ
め、近年では学生など多く
の人の協力にも支えられて
います。今後は、地域の財
産として観光や産業振興に
活用できればと思います。

